

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)	◎	通信会社（営業担当）	・大きな変化はないものの、政策への期待感から、消費については財布のひもが緩む可能性が出てきている。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・お歳暮用品等の贈答品の動きがあるため、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・政府の物価高対策が功を奏したら、今よりも良くなっていく。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今後も、インバウンドの影響には余り左右されない。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始は、旅行や帰省、出張、スキーやスノーボードなどの冬のレジャーで鉄道利用が増えやすく、駅を利用する人流が増える可能性がある。当店のある駅は主要駅かつ観光や登山、スキーリゾートの通過点になりやすい立地のため、需要増加が期待できる。
	○	家電量販店（店員）	・このところ、テレビが好調の兆しがあるため、期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・受注が減少しているため、受注残も減少傾向になっているが、年末から年始にかけての販売で変わるように対応している。
	○	住関連専門店（店長）	・新政権の物価高対策に期待したい。
	○	その他専門店（総務担当）	・例年この時期には、売上が増加する。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年末に向けて、大人数の宴会問合せが増えている。ここ数年にはないボリュームを実感している。平日の動きが増えれば、更に良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・しばらくは現状のままである。来店頻度は減っているものの、単価は上がってきている。売上は変わらない。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新年会の団体予約や年明けの問合せが予想していたよりも多い。忘年会を開催しないで、新年会に回す企業もあるようである。
	○	都市型ホテル（経営者）	・忘年会シーズンになり少人数、大人数問わず、利用客数が増加するとみている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・前年と比べて、宴会件数の減少が12月以降は小さくなってきており、各種団体需要に加え、個人の宴会利用が少しづつ戻ってきていている。宿泊に関しては、定期的に宴会付きのインバウンドツアーが入るようになっており、単価上昇に寄与している。
	○	旅行代理店（従業員）	・来客数も含め、案件が増えている。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなっているため、この先も良くなる。
	○	通信会社（総務担当）	・今月の落ち込みは一時的なものと考えられる。来月からは回復すると予想している。
	○	設計事務所（所長）	・新政権の誕生後で、経済が動き出すのではないかという期待が高まっている。
小売・サービス業	□	商店街（代表者）	・プレミアム付商品券の利用が少ない。年末年始の利用に期待している。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新政権になって、やや外交面が混沌としている。このままでよいのか、少し懸念している。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・国内外共に、多くの観光客の来訪が続いている。今まで余り目立たなかった若年層の来訪が多く、比較的購買意欲もある。厳冬期は国内旅行客数は例年落ち込むが、インバウンドの来訪も堅調に推移しているため、良い状況は続く。
	□	百貨店（営業担当）	・依然として物価が高く、消費マインドの改善には至らない。向こう数か月で景況が改善する見込みはない。
	□	百貨店（営業担当）	・世間の流行やブームに乗って売れているアイテムは好調だが、収まることがない値上げや価格高騰の影響により、全体的な購買行動のアクセルは思い切り踏み込めない。今後も大きな変化は予測されず、現状維持になる。
	□	百貨店（店長）	・先行きは、環境の変化1つで大きく変動する可能性を秘めているものの、この数か月の様子から見て、大きくは変化しないとみるのが妥当ではないかと考える。
	□	スーパー（総務担当）	・新政権の経済対策により多少は効果があると考えるが、それ以上に物価高が進んでいるため、大きくは変わらない。

□	スーパー（商品部担当）	・今月より良くなることはない。悪い状態のまま変わらない。
□	コンビニ（店長）	・余りにも値上げ商材が多いため、客の購入行動の予測ができない。
□	家電量販店（営業担当）	・特売時には売上は上がるものの、平日の不振が大きい。来客数も前年の85%で推移している。
□	自動車備品販売店（経営者）	・最近、人の動きはなかなか読めない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・ブラックフライデーの企画等のディスカウント商材には反応があるものの、それ以外の動きはまだ弱く、当分は価格戦略にシフトせざるを得ない状況である。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食部門では、米価の高値が続く見通しで、人件費も、求人難が続くなからで処遇面の改善等が求められている。当面は収支の厳しい状況が続くとみており、生産性向上や省力化を一段と進めるとともに、クライアントとの取引条件の引上げ交渉を継続していく必要に迫られている。
□	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は、中国からのインバウンドは若干下がるとみているが、他の国からのインバウンドを見込めることがや料飲部門の受注も順調に推移しているため、変わらないと考えている。
□	旅行代理店（営業担当）	・物価上昇が続く限り、日々の生活を優先するため、レジャー産業の景気は変わらない。
□	タクシー運転手	・物価上昇により、忘年会、新年会等は少なくなるとみている。
□	テーマパーク（職員）	・ガソリン価格の引下げ等、明るい情報はあるものの、依然として物価高騰もあるため、良くなるとはいえない。
□	住宅販売会社（経営者）	・経済状況が不安定な間は、現状のまま変わらない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・リフォーム関連の補助金や助成金の増額があればプラスに転じるかもしれないが、金額が例年どおりなら余り変わらない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・人口減少、物価上昇、高齢化等のマイナス要因が多いため、やや悪くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、輸出台数が減少しているものの、関税負担の絶対額が大きくなっている。今期の利益が減少し、地域の産業界にも影響が出てきている。
▲	旅行代理店（経営者）	・販売単価は上がるものの、全体の仕事量は減るため、やや悪くなる。
▲	旅行代理店（所長）	・元々、冬季の来訪者数は落ち込む。冬季を好む東南アジアからのインバウンドの来訪者数に期待したい。ただし、時節柄、春節の中国からのインバウンドの減少には、ある程度の覚悟が必要かとみている。
▲	通信会社（社員）	・物価高対策を期待しているが、現状では先が見えない。
▲	通信会社（局長）	・これから年末の繁忙期に入るが、物価は高止まりすることなく更に上がっている。政府の対策も不透明でスピード感もない。金利上昇により住宅ローンなどの支払額も一段と上がる想定になると、ますます買い控えや節約志向になり、景気回復の方向には向かわない。
▲	ゴルフ場（従業員）	・冬場は閑散期に入るため、例年来場者は少なくなる。また、プレー人口も減少しているため、一層厳しい状況になると予測している。
▲	美容室（経営者）	・商材の相次ぐ値上げに伴い、当店も来年、施術料金の1割値上げを断行する。
×	商店街（代表者）	・12月からの通行止め期間が更に延長され、踏切閉鎖の影響を受ける期間も長くなる。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の使えるお金が少ないことが大きい。これが改善されない限りは景気が上向くことはない。必要最低限の物しか売れないと、厳しい。
×	通信会社（経営者）	・少子高齢化が進む当地では、かなりの不況ではないかと考える。通常、セールやキャンペーン等をほとんどしないメーカーや問屋までが、割引セールを始めている。メーカー担当者の話でも、かなり落ち込んでいるとのことである。やはり物価高の影響は大きく、消費者の財布のひもはかなり固い。円安もそろそろ手を打たないと、中小企業は疲弊していくばかりである。

企業動向関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・年末が近くなり必要な物を買う人が多くなってきている。この先も良くなっていくとみている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件が動き出し、少しずつ良くなる見込みである。適正価格交渉も進んでいる。
	○	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・取引先、受注量、競争相手の様子等は、12月、1月は若干ではあるが、上向きである。
	○	金融業（営業担当）	・クリスマスや年末における消費者の購買は拡大する。2~3か月後は入金等もあり、全体的に良い状況になるのではないかとみている。
	○	経営コンサルタント	・実質所得の伸びが足りないが、物価上昇が抑えられれば冬場の消費増加も期待できる。また、中小製造業の一部では業績が回復し、更なる向上が見込まれる。
	□	化学工業（管理担当）	・3か月先の受注量は既に確定しており、前年同月と変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・これから2月くらいまでは、平日の時間外勤務が続くとみている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・各業種の取引先が50社ほどあるが、ほぼ全ての会社からの受注が減少している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・2か月先までの分だが受注が来ており、量的にはかなり増えている。年度末まではこのままの状態でいくのではないかとみている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・今年度末の3月までに、これ以上仕事が増えるという情報はないため、現状と変わらない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだ物価高の状況が続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・年末年始に向かい、冬物暖房、エアコン、ヒーター、石油ストーブ、電気カーペットや白物家電、初売り商材や冬物寝具等の物量は、前年並みを確保予定だが、ドライバーや車両不足等もあり、コスト高で利益は薄くなりそうである。
	□	社会保険労務士	・予算は無事成立すると思うが、地方創生にも引き継ぎ力を入れてほしい。
	▲	食料品製造業（経営者）	・消費者の生活防衛への取組みは一層厳格になると予想される。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先の注文量の推移をみると、やや悪くなる。
	▲	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・主要取引先が減産傾向にある。今のところ、極端に悪くなっている様子はないが、非常に不安である。
	▲	建設業（総務担当）	・想像以上に全体的な業務量が足りていない上に、この先も回復する見込みは余りない。
	▲	不動産業（管理担当）	・協力会社からの値上げ要請や資材の値上げ傾向も続いているため、継続的に利益を出すことに苦労しそうな環境が続く。
	×	—	—
雇用関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・年末年始に向けての買い控えはあるとみているが、どうしても必要な物については購買力は上がっていく。ガソリン、灯油、野菜など、堅実に伸びていくのではないかとみている。贈答関係での商材の家電、家財、装飾品等は、やむを得ずお金を掛けると予測しており、同時に購買力も上がると見込んでいる。
	□	人材派遣会社（社員）	・新規採用の依頼は例年と変わらないものの、来春の賃上げ交渉について、比較的前向きの状況である。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人件数の前年同月比での動向をみると、医療、福祉分野は増加傾向で推移しており、建設、製造、卸売・小売業については増減を繰り返している。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・派遣数が増加するような時給の高い求人がないため、やや悪くなる。
	▲	学校〔専門学校〕（副校長）	・取引業者の話では、物価上昇による影響が大きく利益がかなり減少しており、これがしばらく続きそうだとのことである。景気の減退が見込まれる。
	×	*	*